

## 地域での役割

～ショートステイの受入れから考える～

特別養護老人ホーム 梓の里  
生活相談員 石川 麻衣  
介護支援専門員 富田佐江子

## 施設の概要

梓の里

静岡県下田市加増野181-1  
開設:1989年(平成元年)7月1日  
定員:特養80名、短期14名  
通所30名  
介護度:4.08 (H29.7.1 現在)



## 高齢社会

- 下田市 総人口 22,477人 (H29.4.1現在)  
65歳以上 8,971人  
高齢化率 39.91%
- 静岡県 高齢化率 28.2% (H29.4.1現在)
- 下田市 高齢者一人暮らし世帯数 2,461世帯  
全世帯数 11,027世帯 (H29.4.1現在)



## 施設の課題

- 受付業務
  - ・緊急的な依頼が減少している
  - ・満床にて対応できない希望者は・・・
- 利用に際して
  - ・一人暮らしの利用者増加
  - ・家族の協力・・・?



## 事例①

- Aさん(69歳) 要介護4  
慢性腎不全、尿毒症による認知機能低下  
・主介護者:二男、生活保護世帯  
→急激な認知機能低下により、介護困難  
ショートステイ利用へ  
・施設の日課に沿った介護の提供  
・スタッフによる状態観察  
→かかりつけ医への受診

## 事例①

- 施設(スタッフ)の不安
  - ・疾患に関する理解
  - ・家族不在での受診、緊急時



- ケアマネ、福祉事務所との連携
  - ・かかりつけ医との顔つなぎ→直接相談へ
  - ・家族への支援



## 事例②

- Bさん(77歳) 要介護3
  - 糖尿病、認知症
  - ・主介護者:孫夫妻(共働き)
    - 認知症による徘徊により、独居困難
    - 孫夫妻が県外から移住し同居
    - 就労のためショートステイ利用へ
    - 黄疸による緊急受診

## 事例②

- 看取り期を想定したケアへ
  - ・ご家族、ケアマネとの担当者会議
  - ・緊急時の確認(フローチャート)
  - ・かかりつけ医との連携
  - ・疾患の理解



## 評価と課題

- 評価
  - ・施設スタッフと家族、関係者 顔が見える関係
    - スタッフの専門性の発揮
    - 施設の存在意義の再確認
  - ・リスクの共有による不安感の軽減
    - 受け入れ体制の整備
- 課題
  - ・高い医療ニーズへの対応
  - ・利用目的の変化に合わせた視点

